

委員会の審査から

市議会には、4つの常任委員会が設置されており、本会議で付託された議案・請願等、各所管事項について詳細にわたり審査を行っています。

2月20日に、4常任委員会を同時開催し、平成30年度3月補正予算を含む議案の審査を行いました。
次に3月8日、12日、13日の3日間にわたり、平成31年度当初予算を含む議案などの審査を行いました。各委員会の主な審査状況は下記のとおりです。

文教社会

3月12日・13日に議案5件、請願1件の審査を行いました。

芹ヶ谷公園芸術の杜・(仮称)国際工芸美術館整備事業
「芸術の杜という大きなテーマの中で」
委員 公園全体のイメージが湧くような説明を。
企画政策課担当課長 子どもと体験というところを、今ある版画美術館やこれからできる国際工芸美術館の中だけにとどまるものではなくて、公園空間の中でも一体的に活用されるようなプログラムを考え、公園に遊びに来た方がプログラムに参加して美術に触れるとか、美術館に来られた方が、公園の中のすてきな空間にもいざなわれていくような、継ぎ目のない空間を考えていきたいと思っています。
委員 市民から工芸美術館をつくってほしいという強い声はあったのか。
文化スポーツ振興部次長 博物館で企画展ごとにアンケートをとっており、現在の博物館の場所についての意見はたくさんあります。直接工芸美術館をつくってほしいという意見ではありませんが、駅の近くにあったらもっと何回も来られるのにといいような意見はいただいています。
中学校給食運用改善に関する請願
委員 アレルギー対応はすごく難しいのは理解するが、全員での給食の試食会ができるよう検討してもらえないか。
保健給食課長 できるだけ多くのお子さんに召し上がっていただき、給食を知っていただくということは進めています。

総務

3月8日に議案6件の審査を行いました。

未来づくりプロジェクト推進費
「芹ヶ谷公園芸術の杜 魅力向上検討支援」
委員 魅力向上については庁内の職員が主体となっていていくのか、コンサルタントが入ってやっていくのか、または市民の方が入ってやっていくのか。
企画政策課担当課長 基本的にコンサルタントを想定しています。効果的なのかを考えてもらえるようなコンサルタントを選定し、検討の過程において実証実験を行いながら、市民も、来館者も声を拾いながら進められる形をとっていきたいと思っています。
委員 コンサルタントから提案が上がってきて、最終的なジャッジは、官と民とのバランスというか、判断基準は、これは行政である市長が最終ジャッジをするのか。
企画政策課担当課長 民間のコンサルタントの知見によって、行政としてそれがないというジャッジだけではなく、その過程においてしっかりと市民の方々の意見を取り入れる形を踏んでいこうと思っています。
庶務事務費
「自衛官募集に関する情報提供について」
委員 ホームページ等を利用した情報提供とは何か、それから自衛隊のほうから個人情報への請求があった場合の町田市における対応は。
総務課長 自衛隊から自衛官の募集対象者となる方の年齢帯についてのものを提供し

建設

3月12日・13日に議案13件の審査を行いました。

町田薬師池公園四季彩の杜ウェルカムゲート整備工事(その2) 請負契約外構整備をするため 契約を締結
委員 薬師池公園西園については、緑地保全とか生き物共生の考え方を、これまでの姿を残してほしいという請願も前に出されていたと思うが、配慮されているのか。
都市づくり部次長 緑地、景観を極力残すような形で計画をしています。植栽も実際ふえていますので、そういった観点で、整備をさせていた

健康福祉

3月8日に議案7件、請願1件の審査を行いました。

町田市国民健康保険条例の一部を改正する条例及び、請願第3号国民健康保険税の値上げを行わないことを求める請願を一括審査
委員 本当に収入のないような世帯でも、全て値上がりするわけだが、今回の条例改正で配慮は行われたのか。
保険年金課長 保険税率の改定は、あくまで制度を維持していくための施策ですので、被保険者全員で負担していく必要があると考えています。その上で、低所得の方に関しては、7割、5割、2割という軽減をきかせていくという考えでやっています。
委員 負担がどんどん上がっていく状況の中で、市として、市民の方にどう説明して